

代表質問

大牟田の未来を担う人材を



子ども・子育て支援

問 母子手帳の交付から、小学校か中学校ぐらいまでに対応する子育て関係のワンストップ窓口の設置の考えは。

答 子ども・子育て支援についての市民ニーズに対応して、子ども・子育て支援を推進していると市民が実感できる組織機構の整備が必要になると考える。

学力向上と教育環境の整備

問 教育の充実と向上、学力レベルの高い地域になるための方策は。

答 少人数学級編制や本市独自の教材集を作成して活用するなど、学力向上のための様々な事業や取り組みが進められている。

総合教育会議等を通して教育委員会と十分に協議を行い、児童生徒の確かな学力の育成に努めていく。

問 教育予算の考え方は。

答 教育内容を充実させるには、副教材や消耗品等も十分な手当てをしていく考えを持

っており、今後の具体的な予算編成に取り組みたい。

問 小中一貫教育の考えは。

答 教育委員会では小中学校が連携を図りながら、小

中の9年間を見通したカリキュラム編成の工夫に取り組んでいる。今後の小中一貫教育の推進に期待をしている。

問 地域とともにある学校づくりという意味での学校運営協議会等をつくる考えは。

答 各地域の実態に応じて、子供たちをみんなで見守りながら育てていく、大牟田版のスクール・コミュニティーができないかと考えている。



産業の多様化と地域経済が力強く循環するまちづくり

問 中小企業や事業所の振興、育成と、新規事業、創業の促進、成長産業分野の振興や多様な雇用の場を創出すると公約しているが、支援策は何か。

答 市場ニーズの多様化や経済のグローバル化等を踏まえて、企業の競争力強化、新規事業創業の促進、物流機能の強化の三つの視点から、市内企業の支援を進めていく。

また、新たな企業、産業の集積促進の観点から、企業誘致の推進、成長産業分野の振興に取り組んでいく。

公共施設維持管理計画の推進

問 同計画に沿った行政運営と行財政改革の進め方は。

答 同計画の趣旨を市民に十分説明し、理解していただいた上で、あるべき施設の姿を議論し、検討していきたい。

本市の人口減少に対応しつつ、健全な行政運営を行い、将来の市民生活を安定させるための取り組みとしていきたい。

問 県施設として武道場の建設を本市に誘致できないか。

答 非常に高いハードルと認識しているが、県に対して施設誘致のみならず、様々な観点から相談・要望を行いたい。

職員のさらなる意識改革

問 理想の職員像とは。

答 失敗を恐れずに行動し、まちに活気を取り戻す先兵として、みずから積極的に打って出て、こちらから住民に働きかけていく努力を惜しまず、役所という枠組みにとらわれずに地域の担い手としての自覚を持って仕事にかかわっていくことを求めている。

また、仕事を遂行する中で、全国的な視野を持って、情報発信を心がけてもらいたい。

職員のさらなる意識改革、人材育成に努める。